

## 逗子市の子育てQ&A

## 放課後児童クラブとふれあいスクール

秋は、来年度の入園や入学の準備をスタートする時期。それに合わせて、🦱 ママ達も何か新しく始めようと計画をたてる時に一番気になるのが子どもの 🔘 事。小学校に入学したら、放課後に安心して過ごせる施設はあるのかな?🔘 教えて!シズオ!!

> 来年は子どもが小学生になるから、放課後に子ども だけで過ごせる施設はないのかな? 教えて、シズオ!



池子在住 Sさん



簡単に言うと二種類あるよ。

- 1. 放課後児童クラブ(以下児童クラブ)は、働く 親がお子さんをあずけられる施設。
- 2. ふれあいスクール(以下ふれスク)は、誰でも 利用できる施設。



児童クラブとふれスクの違いって何かしら?

児童クラブは保護者が就労等で留守になる家庭の 児童を対象とした、遊びを中心とした生活の場で、 学校敷地外の専用施設にて、放課後から19時まで あずかるよ。保育料は月額12,000円(別途減額 あり)で延長保育料は(18 時~19 時)月額 1,000 円 だよ。

ふれスクは原則として当該小学校に通う児童を対象 とし、異年齢の子ども達が交流しながら遊ぶ場で、 小学校の余裕教室等にて、 放課後から16時30分 (保護者の迎えがある場合は、17時まで利用可能)

なるほど。どちらも子どもが安全に楽しく過ごせる 場所なんだね! もっと詳しく知りたいな~♪



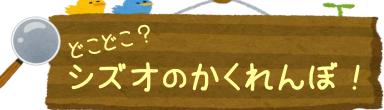


詳しくは、えがお(逗子市の子育てポータルサイト) に掲載しているよ。

逗子 えがお で検索してね!

http://www.city.zushi.kanagawa.jp/egao

子育てナビ⇒小学校・放課後児童クラブ等 ⇒放課後児童クラブ又は、ふれあいスクール



みてみて! たーくさんのおもちゃ! さっそくシズオがかくれんぼを始めたよ♪ もういいか~い?さがしてさがしてシズオはどこかな?





## シズオ

逗子の里山で産まれたドングリの妖精。 森のどうぶつたちや海や川のいきものたちと大親友♪ 広報ずし、チラシや印刷物、のぼり旗に登場してるよ!

## ほかにもこんなものがかくれんぼしてるよ!

- ◎みずいろのブラキオサウルス、きれいだね
- @きいろいリボンがおしゃれなクマさん
- ◎まちをきれいに! ゴミしゅうしゅうしゃ
- ◎あおいすながキラキラ、すなどけい
- ◎いくつあるかな?ヘリコプター

◎あかとしろのしましまボール

答えは、えがお公式 Facebook を見てね

https://www.facebook.com/zushiegao/

# 陽だまり図書館 へようこそ

<u>เดิงตาเลา เดิงเดิงเลาที่ และที่ เสาที่ เดิงติบติบติบตาม เดิงมาการแต่งเรา</u>

ここには、親子でたのしめる本がいっぱい! どんな出会いがあるか、のぞいてみましょう♪



「あかいふうせん」 イェラ・マリ (ほるぶ出版)



文字がないので小さい子からでも楽しめます。赤い 風船が、りんごやちょうちょや花に変化していき、 風船が姿を変えるたびに子どもの表情も変わって、 それを見ている大人も楽しめる一冊ですよ♪

美しいアート作品のような絵本です。



子盲てポータルサイト「えがお」も見てね!

http://www.city.zushi.kanagawa.jp/egao



# ♪逗子でたのしい子育てを♪ 陽世ま

**FREE PAPER** 

2018 年 秋号 No.66

逗子のママたちが 制作しています

الح ŧ 5 **1**0J 7 3



~地域活動でご活躍の方々から~

子育て応援メッセージ



『生きて在るという価値』

聖マリア幼稚園長、小学校長

森荘一

逗子の聖マリア小学校で教員を始めて40年になります。現在は小学校長と 去年から聖マリア幼稚園長を兼任しています。2歳の未就園児クラスの子ども から 12歳の小学校6年生まで、子どもたちの10年間の成長を見てきました。

今までたくさんの子どもたちと出会ってきましたが、一人として同じ子は いませんし、同じ成長の仕方もないということがはっきりと分かります。教育の 場では「一人一人を大切に」ということが言われますが、この言葉は時として 価値ある者、価値ある行りに対して使われています。人の価値とは何でしょうか。

私には娘が一人いますが、30年以上前にこの子が生まれたとき私たち夫婦は 大きな喜びをいただいたことを今でも忘れません。その時娘が持っていた価値は 生きて在るということだけでした。おやらく皆様も同じ思いを持たれたことと 思います。人の価値とは生きて在るということです。

子育ての過程では人よりもできるできないや、年齢にふさわしい成長がが気に なることと思います。しかし誰もみな、「生まれてきてくれてありがとう」が 人生の始まりであったことを忘れないでほしいと思います。一人一人の子どもの あり方、その子なりの成長をそのまま大切にすることが親の喜びであり、子ども の幸せであると信じています。

1978年聖マリア小学校教員、2011年小学校長、2017年聖マリア幼稚園長兼任

- ●問合世先● 社会福祉法人 逗子市社会福祉協議会 地域福祉推進係 〒249-0005 逗子市桜山 5-32-1 (福祉会館内) IP: http://zushi-shakyo.com/
- 電話 046-873-8011 FAX 046-872-2519 E メール <u>sunny@zushi-shakyo.com</u>
- ●発行元● 逗子市 教育部 子育て支援課
- 〒249-8686 逗子市逗子5-2-16 HP: http://www.city.zushi.kanagawa.jp/
- 電話 046-873-1111 (代表) FAX 046-873-4520
- ※本誌に掲載された記事を複写、複製使用の際は上記へご一報ください。

●毎日、公園~!



息子2人、家に居ると… ケンカ→何かしら壊れる→私の怒りが沸点に!! が、お決まりなので、とにかく公園へ。

特におススメは土・日・祝日8:45~17:00のみ 限定開園の「池子の森自然公園」。 70年以上もの間、ほぼ手つかずの胃重な自然がいっぱい。 園内の池には、メダカや蛍、カワセミがいるらしい!緑地エリアでは、 春はお花見、夏は昆虫観察、秋は木の実拾いが楽しめるよ。 遊具が無いけれど、ポールやバドミントン、鬼ごっこ等、 思いっきり体を使って遊べるので、寒い冬でも大満足!

また、久木側のトンネル入り口手前から、池子側のテニス コート脇までの散策路は、程よいアップダウンで小さな子でも どんどん歩ける! 車通りからかなり離れているので、空気も澄み、 騒音も聞こえず、ゆったりと時間が流れる感じが私も 息子達も大好き!!

そうそう、大切な自然だからこそ、お花は摘まない、 昆虫はcatch&release、ゴミは持ち帰る!をいつも守っています~。 暑かった夏も去り、 お外も心地よくなったけど。 「〇〇の秋」とか、何かしなくちゃいけない? みんな、毎日どうしてる??



お外でもおうちでも、遊び方は人それぞれ。 思うようにいかない日があってもよし!

でもね、本音があるのも私たちリアル。

今日は何派の気分かな~♪ ホンネ・ナノヨー 子育てママに潜む、

肩の力を抜いて、本音もまとめて認めちゃうのが 陽だまり流~♪

## ●雷車を見に行く!

うちの子は雷車が大好き! 乗るのはもちろんですが、用事のない時はさ欠れしの外から 眺めるだけでもかなりの時間、飽きずに見ています。 特にJR逗子駅は、横須賀線の車両の連結作業が見られるので、

ホームに旗を持った駅員さんが現れると大興奮! 緑の旗をパタパタして後続車両が近づいていき、 赤の旗でストップ!毎回「おぉー!」と歓声を上げて、 無事連結された車両を見送っています。 母はひたすら立って子どもがき満足するのを待っています・・・

間近に行くのは 入場料がかるから 微妙よね。入るのは



なーんて時も、けっこう あったりする/ヨ~

●"ついで"におでかけ!

多少エキサイティングな毎日かも 実。

下の子は、ついつい年中さんのお姉ちゃん都合の行動にい。 朝は幺カ稚園の送りで雷車、ついでにスーパーにお買い物。 家に帰って家事をして、午後にはまた雷車でお迎え。 公園もお姉ちゃんのお友達と一緒に。 時にはお姉ちゃんの習い事待ちにファストフードに行ったりも。 なかなか下の子を中心にとはいかないけれど・・・ でも、あまりタト出しなかった上の子の小さい時より、



5歳・2歳姉弟ママ

下の子は、これだから たくましくなる/ヨ~ ファストフードは ホントはまだ早いかしら



●親子参加型のイベントに とにかく乗り込んでいます!

ドリー 4歳男の子ママ

子どもとのお出かけ場所もちょっとマンネリ気味かなあ?と思っていたところ、 地域情報誌に、ランチイ寸きベビーマッサージワークショップが載っているのを見つけました。 子どもと一緒に新しい場所に行くのはとても新鮮な気分で、とにかく楽しかった! ネットには載らないような地域の小さいイベントは、街のチラシやポスターで見つけます。 こどもの日や七夕、ハロウィンなど、ちょっとした地域のイベントは予約の要らないものや 無料のものが多く、子どものご機嫌が良かったら行こう!と気軽な気持ちで



実のところ、楽しんでるのは 子どもじゃなくて、 私だけな気もする/ヨ~

ダークだが

愛すべき妖精!?

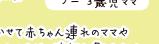






●行ってよかった、 子育て支援センターとほっとスペース

子ども(月齢2ヶ月)と2人きりで家の中で過ごしていましたが、 誰かと会話がしたいという気持ちから、子育て支援センターに 遊びに行ったのがきっかけでした。



支援センターは赤ちゃんのスペースが量で、子どもを寝かせて赤ちゃん連れのママや 支援センターのスタッフさんと雑談や子育てのこと、地域のイベントなどの情報を得られました。 馬主車場があるので行きやすいかも。

池子・沼間・小坪・久木のほっとスペースにも遊びに行ってみました。 冬ほっとスペースでは、お誕生日会などのイベントも開催してくれるので、3歳になった子どもと 親子で楽しんでいます。

知ってはいるけど…なんが行く勇気がない/ヨ~ そのうち気が向いたらでいいわ~





1歳女の子ママ

子どもがまだ自由に歩き回れず、自分がインドア派 なのもあり、家の中で過ごすことが多いです。絵本を読んだり、

おもちゃで游んだりもしますが、特にテレビの子ども向け番組にはお世話になっています。 お外に連れて行かない後ろめたさを感じつつ、一緒になってこちらも真剣に歌ったり 踊ったりしていると、子どもも笑って盛り上がるので、

スキンシップと実顔を大事に、まったり楽しんでいます。

やっとテレビの時間!と思ったら・ 特番で子ども向け番組が無い日は がなりショックでテレビにグチる/ヨ<sup>,</sup>







# ●「家のちょっと外」で遊ぶ!

無理に遠くへお出かけしなくても、 家の近くなひたすら子どものペースに 合わせて歩くだけで、毎回不思議と 新しい発見があります。



石ころや雑草も宝物のようにもって帰ってくるのがおもしろい。 拾ってきた石ころにサインペンで顔を書くだけで大盛り上がり! 雨の日だってレインコートをさっと着て、近くを気ままに散歩。 水たまりでパシャパシャしてもシ黒れても家がすぐそこだから気にしないよ 玄関 先でシャポン玉したり、ベランダ (狭いけど!)で絵本を読んだり。 家のちょっと外でも十分特別、

親子でストレスフリーな時間を過ごしています。



翌日の洗濯機がら、小石が ジャリジャリ出てくると 正直ゾッとする/ヨ~



